進捗評価シート (様式1-1)

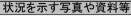
評価軸①-1 組織体制	
評価対象年度	
項目	現在の状況
計画の実施に向けた推進体制	□実施済 ■実施中 □未着手

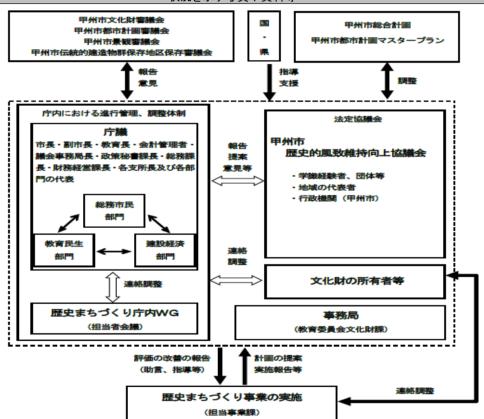
本計画の推進、実施にあたっては、甲州市教育委員会文化財課歴史まちづくり担当に引き続き事務局を置き、 計画に記載 庁内関係各課で連携を取りながら連絡調整を行い、国や県の関係機関と協議して適切な支援を得る。また、歴 している内容 史まちづくり法第11条に基づく「甲州市歴史的風致維持向上協議会」において、計画推進や計画変更、円滑な 事業の実施に向けた協議を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

教育委員会文化財課が中心となって、関係各課との連絡調整を図り各事業の推進について検討した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 進捗状況 ※計画年次との対応 ■計画どおり進捗している 各事業の細部のすり合わせについて、今後も担当事業課との協議と連携を密に行い調 口計画どおり進捗していない 整する。





歴史まちづくり庁内WG



甲州市歴史的風致維持向上協議会



(様式1-2) | 排評価シート

域における良好な景観を形成する施策 評価対象年度 平成30年度 項目 現在の状況 口実施済 甲州市景観計画との連携 ■実施中 口未着手

本市の景観計画は、市民生活や産業構造の変化に対する景観的課題の顕在化に対応し、本市の景観政策の 充実と向上を図ることにより、本市固有の景観を守り、創り、育て、次世代に継承できる「果樹園と歴史・文化が 織りなす魅力あふれる美しいまち」を実現することを目的として、市域全体を対象として策定しており、景観形成 計画に記載 「極りなり 魅力あふれる美しいまち」を実現することを目的として、市域全体を対象として策定しており、景観形成のため6つのゾーン区分を設定して、それぞれのゾーンにおける景観形成の方向性を定めている。また、景観 形成重点地区に設定されている地区はまだないが、候補地の多くが甲州市の歴史的風致と重なり、あるいは関 係性があるため、事業展開に併せ景観行政と連携し、歴史的風致の維持向上に努めると共に、屋外広告物の 制限についても、甲州市独自の屋外広告物条例の設置に努めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

甲州市景観計画に基づく景観計画区域の全域を対象に、景観計画に基づく「届出対象行為」に該当する全ての建築・工作 物について「甲州市色彩景観づくりの手引き」により色彩の制限を設けた。これにより事業者に対し景観への色彩基準や誘 導基準による色の選び方や使い方などの啓発を行い、新築または建て替え物件についてはほぼ100%の理解を得てい る。また色彩による景観形成の一環として、本市に数多く点在する果樹園に使用する防風ネット等の資材に対し「甲州市自 然色ネット等資材購入補助金交付要綱」を定め、自然色の資材を購入する者に3万円を上限とした(補助率50%)補助事業 を実施している。

(平成30年度実績:14件 市補助金額239,735円)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



汎用的なブルーの防風ネット





評価軸③-1			(松北(1-3)
歴史的風致維持向上施設の整備			
		評価対象年度	
	項目		現在の状況
甲州市塩山下小	N田原上条伝統的建造物群保存地区保存整備事業		□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間 平成29年度~ 令和8年	F度		ı
支援事業名 国宝重要文化財等保	字整備事業費補助金		
計画に記載 甲州市塩山下小田原している内容 上げや修理・修景など	上条伝統的建造物群保存地区の歴史的建造物の保存・ を行い、歴史的景観の整備を図る。	活用を図るため	か、建造物等の買
	性的·定量的評価(自由記述) <i>※定量的評価は可能な範囲</i>	で	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応フ	5針(自由記述))
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	平成30年度は、修理の要望が無かったため整備事業の住民とのコミュニケーションを密にとり、要望が挙がっように準備を進めた。		
	production and a section of		

事業期間 平成28年度~ 平成30年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備事業費補助金(美しい日本探訪のための文化財建造物活用事業)

計画に記載 重要文化財旧高野家住宅の美装化事業により、附属屋(異蔵、文庫蔵)や附指定の建造物(地実棚、裏門)など している内容 の外観修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧高野家住宅の附属屋のうち4棟については、外観の経年劣化が著しく、重要文化財として保存・管理を行うため平成28年度から平成30年度までの期間、外装の美装化を実施し、平成30年度事業としては、「巽蔵」屋根軒先風返板取替工事と「裏門」の柿の部分修理工事を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している	
口計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

重要文化財旧高野家住宅巽蔵美装化工事



重要文化財旧高野家住宅地実棚美装化工事



【施工前】 【施工後】

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項 評価対象年度 平成30年度 現在の状況 項目 口実施済 旧宮崎葡萄酒醸造所(宮光園)保存修理事業 ■実施中 口未着手

事業期間 平成21年度~ 令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載 日州市近代産業遺産「宮光園」について、これまで主屋、白蔵、離座敷などの修理を終えているが、東三番蔵な している内容 ど未修理の附属屋が残るため、保存修理を行い屋敷構えを整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

宮光園の保存・修理事業については、主屋、白蔵、文庫蔵・道具蔵・離れ座敷、庭園等の事業が平成27年度までに完成し ているが、東三番蔵などの未修理の附属屋が残っており、これらの修理工法や敷地の活用方法などの方向性について検 討を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗していない	宮光園については、民間バスツアーの行程に組み込まれることも多くなり、平成30年度の年間観覧者数についても、平成28年度8,316人、平成29年度14,644人、平成30年度15,953人と年々増加している。これに伴い、昨年度より駐車場の確保という新たな課題も出ており、周辺の環境整備も含め今後の方向性を決め、実施につなげていく。
	状況を示す写真や資料等

未修理の建物







【 東三番蔵解体跡 】

甲州市近代産業遺産宮光園施設利用状況

	27年度			28年度			29年度			30年度		
月	日数	入館者	日平均	日数	入館者	日平均	日数	入館者	日平均	日数	入館者	日平均
4	26	433	16.7	26	409	15.7	26	787	30.3	26	793	30.5
5	27	423	15.7	26	658	25.3	26	964	37.1	26	858	33.0
6	26	2,586	99.5	26	330	12.7	26	881	33.9	26	561	21.5
7	27	314	11.6	27	578	21.4	29	712	24.6	26	504	26.0
8	27	657	24.3	27	579	21.4	26	1.246	47.9	27	1,552	57.5
9	25	922	36.9	26	937	36.0	26	1,478	56.8	26	6,160	236.9
10	29	970	33.2	28	2,068	73.9	28	2,825	100.9	26	2,409	92.7
11	26	536	20.6	25	1,240	49.6	27	2,829	104.8	27	1,558	57.7
12	23	80	3.5	23	387	16.8	23	511	22.2	23	261	11.3
1	23	356	15.5	23	244	10.6	23	421	18.3	23	275	11.9
2	25	184	7.4	24	297	12.4	24	1.028	42.8	25	424	17.0
3	26	378	14.5	27	588	21.8	27	962	35.6	27	598	22.1
2+	310	7,839	25.3	308	8,315	27.0	311	14,644	47.1	308	15,953	51.8

事業期間 平成27年度~ 令和6年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備事業費補助金(歴史活き活き!史跡等総合活用整備事業・史跡等買上げ(直接買上げ)事業)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡勝沼氏館跡の家臣屋敷地と推定される民地の買上げを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	
	状況を示す写真や資料等

史跡勝沼氏館跡公有地化事業



(様式1-3) | 排評価シート

的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項 評価対象年度 平成30年度 現在の状況 項目 口実施済 農業基盤整備促進事業 ■実施中 口未着手

事業期間 平成29年度~ 令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載 狭い農作業道の整備を実施し、農業経営の安定や農作業の効率化を図るとともに、担い手への農地利用集積 している内容 を促進し、生産組織の育成や強化を推進することで、生産量の向上及び安定を図る。

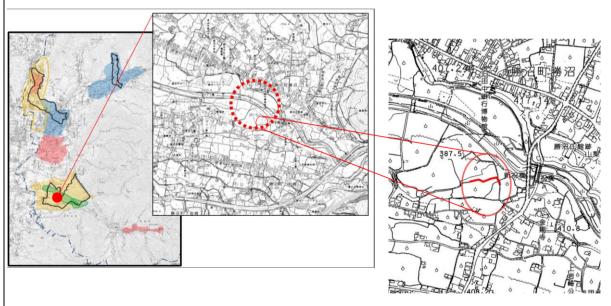
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

基盤整備促進事業(農業基盤整備促進事業)により、「農道上岩崎3号線改良工事」を行い、周辺農耕者の農業効率と生産 性の向上を図った。 (平成30年度実績 延長L=133m、工期平成30年10月2日~平成31年2月28日)

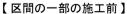
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

農道上岩崎3号線改良工事









【区間の一部の施工後】

事業期間 平成29年度~ 令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載 農業に関心のある人と、農繁期の手助けを必要としている農家を結びつける援農制度で、ブドウやモモ、スモモ している内容 の栽培にかかる作業やコロガキづくりにかかる作業を、受入農家に寝泊りして行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・「農村ワーキングホリデー」事業として、モモ、スモモ、ブドウ、野菜等の農家の手助けを行い、参加者が自らも作業を通じて農業技術の向上を図った。

(平成30年度受入実績:計3名、うち宿泊3名、実施期間5月4日~3月28日)

・「ころ柿ワーキングホリデー」事業として、松里、塩山、奥野田地区の柿の収穫、皮むき、干し作業等のコロガキづくりの体験を行った。(平成30年度受入実績:計3名、日帰り3名、実施期間11月3日~11月20日)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

「ころ柿ワーキングホリデー」事業





《ころ柿づくりワーキングホリデーの概要》

平成30年11月3日から平成30年11月20日

小さなお子さんを連れてのご参加は、ご遠慮くださ
 往復の交通費は、参加者の負担となります。

| 〒 本務島・中込先| 〒 404-8501 甲州市塩山上於曾 1085-1 | 甲州市役所 農林振興課 果樹農林担当 12.0553-32-5092

「農村ワーキングホリデー」は観光型の体験農業ではありません。 真剣に農作業や農家の生活を体験してみたい方向けのプログラムです。







【 農作業体験 の様子】

<u>進捗評価シート</u> (様式1-3)

計画に記載 日州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区について、駐車場やトイレなどの公益施設の整備を行い、 している内容 地区内の環境を整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度については、特定物件が所在する福蔵院と金井加里神社に説明看板、国道入り口に駐車場の案内看板を設置し、見学者の利便性の向上を図った。また、福蔵院に設置していた仮設トイレが老朽化したので撤去した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	計画にあたり、地区内の土地所有者との交渉が難航した。今後は甲州市塩山下小田原 上条伝統的建造物群保存地区保存整備事業と併せて、伝建地区内での住民との密な コミュニケーションを取りながら、住民要望を押さえつつ計画を実施していく。

状況を示す写真や資料等

重要伝統的建造物群保存地区 設置説明看



福蔵院



金井加里神社



国道411号入り口



福蔵院駐車場入口付近

事業期間 平成29年度~ 令和3年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載 市内で行われる伝統芸能・祭典などについて、後世まで継承されるよう、主催者に資料や情報を提供するとともしている内容 に、補助金を交付するなどの支援を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度は、市内5つの団体に補助金を交付して伝統芸能の継承を図るとともに、団体の維持運営状況の把握に努めながら支援を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
l	担い手の高齢化等もあり、積極的に魅力ある伝統芸能の継承のため若者に啓発を行っていく。

状況を示す写真や資料等

甲州市の継承するべき伝統芸能・祭典



藤木道祖神祭太鼓乗り(甲州市指定 無形民俗文化財)



熊野神社御幸行列(甲州市指定無形民俗文化財)



田野十二神楽(山梨県指定 無形民俗文化財)



一之瀬高橋の春駒(山梨県指定 無形民俗文化財)



柏尾の藤切祭 (山梨県指定 無形民俗文化財)

	評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項					
	評価対象年度	平成30年度				
	項目	現在の状況				
	歴史文化の発信事業	□実施済 ■実施中 □未着手				
事業期間	平成29年度~ 令和3年度	1				
支援事業名	市単独事業(歴史的風致活用国際観光支援事業)					
H1 11 - H0 +24	甲州市を訪れる観光客が、甲州市に点在する歴史的建造物や名所・旧跡を見学しやすいよう 明板、誘導標識などの公共サインを設置する。	に、案内板や説				

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度に作成した「歴史的風致活用国際観光支援事業」を活用した外国語版のマップを市内観光拠点に配置した。 また、平成30年度には同事業により史跡勝沼氏館跡のトイレ休憩所の機能強化を図り、見学者の利便性を向上した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
	スマートフォン等を持っていない、または活用していない観光客のために、必要な所に公 共サインを設置していく。	

状況を示す写真や資料等

甲州市外国語観光マップ配置状





JR塩山駅内観光案内

JR勝沼ぶどう郷駅内観光案内所

史跡勝沼氏館跡トイレ休憩所機能強化工事

【施工前】

【施工後】













<u> 捗評</u>価シ-(様式1-3)

. 致維持向上施設の整備及び管理に関する事項 評価対象年度 平成30年度 項目 現在の状況 口実施済 歴史的風致散策•景観形成協働事業 ■実施中 口未着手

事業期間 平成27年度~ 令和3年度

支援事業名 市単独事業

甲州市の歴史的風致を深く理解してもらうため、「甲州市歴史的風致維持向上計画」をテキストに、各歴史的風 計画に記載

安の散策会を定期的に開催するほか、散策で気にかた点について、市民などと協働して、農業用ネットの交換している内容 やガードレールの景観色塗装など、景観形成協働事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度は、5回現地散策を実施した。歴史的風致の解説を加えながら現地を散策することにより、地域が培ってきた 歴史や文化、それによって形成されてきた集落や町並みへの理解を深めることができたと思われる。周知とともに、参加者 の方々から貴重なご意見をいただくことができた。また、景観形成の一環として、市民との協働によりガードレール等の景観 色への塗り替えを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している 口計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【第14回塩山地区(H30.4.18)】



【第15回大和地区(H30.6.23)】



【第16回塩山地区(H30.8.18)】



【第17回勝沼地区(H30.12.16)】



【第18回勝沼地区(H31.2.17)】







景観形成協働事業



【施工前】



【施工後】



(様式1-4)

材の保存又は活用に関する事項 評価対象年度 平成30年度 項目 現在の状況 口実施済 文化財の保存又は活用の現状と今後の方針 ■実施中 口未着手

本市には、平成30年(2018)3月の計画認定時点で国指定文化財29件(うち、国宝3件)、山梨県指定文化財82 件、甲州市指定文化財154件の、合計265件の有形・無形の文化財が所在している。

している内容

これらの指定文化財は、文化財保護法や山梨県文化財保護条例、甲州市文化財保護条例の他、関連法令に 基づき、これまで保護のための措置が講じられてきており、今後も引き続き保護のための措置を講ずる。その一 計画に記載 方で、指定されていない歴史的・文化的価値を有する未指定文化財も数多く所在し、本市の歴史的風致の維持 向上を図るうえでも、これらの未指定文化財も保存・活用を図ることが重要である。

文化財は指定・登録の有無を問わず、本市の歴史と文化を理解するうえで必要不可欠なものであるため、調査 を行い、価値が判明したものについては市指定や国の登録制度の活用を検討するとともに、適切な保存管理や 活用が図られるよう、計画的に修理・整備や防災対策等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内に点在する文化財について、現状の調査・再点検等を行い、文化財価値の向上と保存、維持の方針を検討した。 平成30年度は、市内で新たに2件の建造物が登録有形文化財(建造物)に登録され、文化財保存環境の整備を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	
状況を示す写真や資料等	

平成30年度に新規登録された甲州市内の登録有形文化財(建造物)



【 小沢家住宅店舗兼主屋 外観 】

小沢家住宅 店舗兼主屋 木造3階建、切妻造り瓦葺き屋根 越屋根付き

建築年代:明治中期 改築年代:大正 3年頃 昭和61年頃

平成10年頃

小沢家住宅 文庫蔵

土蔵造2階建、瓦葺き屋根

建築年代:明治初期 改築年代:平成10年頃



【 小沢家住宅 文庫蔵(北側) 】

文化財の所在地:甲州市勝沼町等々力1372番地、1373番地

(様式1-4)

の保存又は活用に関する事項 評価対象年度 平成30年度 項目 現在の状況 口実施済 文化財の保存・活用を行うための施設に関する方針 ■実施中 口未着手

本市には多くの有形・無形の文化財が所在しており、指定・登録件数は山梨県一である。これら文化財の保存・ 計画に記載 活用を図りながら展示できる施設や、文化財について総合的な情報発信拠点施設の検討が必要である。 している内容 当該施設としては、重要文化財旧高野家住宅、甲州市近代産業遺産宮光園、旧田中銀行博物館、ぶどうの国 文化館があり、それぞれの施設の特性を尊重しながら、活用や情報発信に努めているところである。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市が管理する文化財施設については、情報発信の手段として音楽、芸術、民芸等とのコラボレーションにより集客を行いつ つ、外部の人々への情報発信や地元住民への文化財の価値の認識や保存に対する啓発を行った。また旧高野家住宅に おいては、敷地内の文庫蔵を利用した子ども図書館(塩山図書館分館)を開館しており、地域住民に親しみやすい文化財と して活用をされている。

また、平成30年度は初の試みとして市内寺院(大善寺、恵林寺)において音楽イベントを開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



重要文化財 旧高野家住宅(甘草屋敷)

平成30年

2月11日~4月18日 第16回塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり

平成31年

2月11日~4月18日 第17回塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり 3月18日 オカリナで奏でる、ひな飾り演奏会

【旧高野家住宅(甘草屋敷)】



【 塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり】



【気軽に落語を楽しむ



【 オカリナで奏でる、ひな飾りと桃の花まつ



【H30.4.14国宝 大善寺薬師堂ヴァイオリンコンサー



【H30.12.8恵林寺ヴァイオリンコンサート】

|捗評価シー (様式1-4)

財の保存又は活用に関する事項 評価対象年度 平成30年度 項目 現在の状況 口実施済 文化財の周辺環境の保全に関する具体的な計画 ■実施中 口未着手

計画に記載 している内容

重点区域「勝沼地区」では、「勝沼のブドウ畑とワイナリー群」について文化的景観の調査を行うとともに、山梨 県及び山梨市・笛吹市と共同で取り組んでいる「峡東三市による日本農業遺産・世界農業遺産登録」により、ブ ドウ畑の景観を残すこととする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 山梨県内初の重要文化的景観選定を目指し、「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群」文化的景観調査を平成28年度から30年 度の3ヵ年にわたって実施した。平成30年度は、ブドウ畑の分布や畑の構成、近代化に伴う遺構、生活・生業などの調査を 国立大学法人山梨大学、甲州街道勝沼宿や和風建築のワイナリーなど建造物の専門調査を学校法人工学院大学、自然 的特性調査の一部を公立大学法人山梨県立大学が実施し、3月末に3ヵ年の成果をまとめた調査報告書を刊行した。調査 報告書を取りまとめるにあたり、調査委員会を2回開催し意見を聴取した。

普及啓発としては、勝沼地域の4つの小学校と連携し、地域探検を実施。その成果をもとにパネル展を開催、市内施設を巡 回展示した。また、山梨大学と共同し、広報紙「かつぬま旬報」を創刊、文化的景観選定に向けた取り組みについてを周知 を行った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している 口計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

文化的景観調査報告書



平成31年3月31日刊

広報紙「かつぬま旬報」



平成30年7月1日vol.1刊行 平成30年11月1日vo.2刊行 平成31年2月1日vol.3刊行

現地調査





甲州市文化的景観調査委員

普及啓発(地域探検・成果発表パネル展)







宮光園白蔵

- •平成31年1月29日第5回調査委員会
- •平成31年3月15日第6回調査委員会
- •平成30年4月~
- 勝沼の古写真・古史料募集
- •平成30年5月~6月 勝沼地域の4小学校「地域探検」ワークショップ
- ・平成30年8月12~31日勝沼地域の魅力を全方位からみつめるパネル展
- •平成30年9月~平成31年2月巡回展示
 - (勝沼ぶどうの丘、甲州市役所本庁舎、勝沼地域の4小学校、勝沼図書館)
- •平成30年11月
- 勝沼地域の4小学校「地域探検」振り返り授業

財の保存又は活用に関する事項 評価対象年度 平成30年度 項目 現在の状況 口実施済 文化財の防災に関する具体的な計画 ■実施中 口未着手

重点区域「神金地区」にある甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物の多くは 木造であり、傾斜地を造成して宅地としていることから、地震や火災が発生すると倒壊や火災の延焼などにより、被害が保存地区の広い範囲に及ぶことが予想される。そのため、所有者や上条組、地元消防団などと協議 計画に記載を行い、自主防災組織を強化するとともに、今後策定する防災計画に基づき、必要な防災施設の整備等を実施している内容されて、また、まな、また、お客には発生して、個人のに統分を決している内容されています。 する。また、所有者等と協議して、個々の伝統的建造物に対して耐震補強を行うなどの取り組みを行う。 さらに、歴史的景観に配慮しつつ防犯灯を整備し、防犯対策や美術工芸品等の有形文化財が盗難に遭わない よう、地区の意識啓発に努めていく。

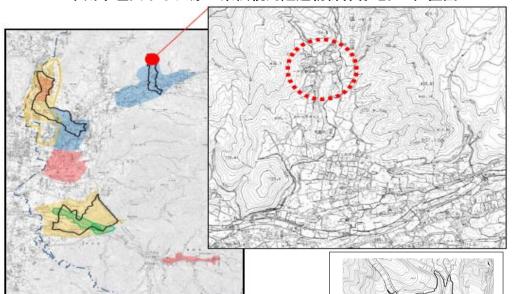
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度から29年度にわたり、防災計画策定に向けての現地調査を工学院大学に委託し実施し、調査結果の取りまと め状況を甲州市伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催して報告、審議を行ってきた。平成30年度予定をしていた補 足調査、地元住民へのヒアリング調査について、計画どおり進捗しできなかったため、令和1年度も引き続き調査を行う。

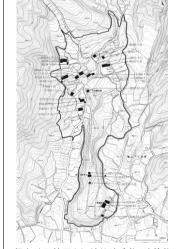
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
□計画どおり進捗している	調査に一部不足がみられたことと、防災計画の要となる公営水道の事業遅延により、報告書刊行まで至らなかった。防災計画策定は来年度以降とし、以後は計画に基づき防災事業を実施する。
■計画どおり進捗していない	文化財毎に管理体制や管理状況に違いがあり、対応や対策については各管理者と文化財の状況を鑑みて、無理のない対策を講じられるように協議を行っていく。

状況を示す写真や資料等

甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区 位置図



上条伝建地区は、標高が700mほどの山間の集落で、水道 は集落で引いた小規模水道を使用しており、大きな河川もな いため、防災用の水源確保が難しい。



保存地区範囲と伝統的建造物(建築物)

宇に関する報道 評価対象年度 平成30年度 掲載紙等 報道等タイトル 年月日 山梨日日新聞(朝刊) 文化的景観 山梨大と市が共同調査 平成30年4月24日 ブドウ郷、上条集落紹介 子ども向け冊子作製 平成30年8月8日 山梨日日新聞(朝刊) 勝沼らしい景観 冊子に 平成30年9月26日 山梨日日新聞(朝刊) 古墳や仏閣巡り 勝沼地域を散策 平成30年12月22日 山梨日日新聞(朝刊) 市内遺跡で発掘 土器や鉄器展示 平成31年2月25日 山梨日日新聞(朝刊)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

甲州市が歴史的風致維持向上計画の策定により、歴まち都市に認定されたことによって市民の歴史的風致を活かしたまちづくりへの関心が向上した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
	今後の引き続き、歴史的風致理解を深める関心を高めるためメディアへの情報提供や独自の情報発信を推進する。

状況を示す写真や資料等









発動日:2018年0月日28日 / 発植 / 被国 第022 被西:記事・享養・行う入ト等の類類後を発用され続りします。Copyright 山梨日日新聞社

【山梨日日新聞 平成30年4月24日掲

【山梨日日新聞 平成30年8月8日掲

【山梨日日新聞 平成30年9月26日掲



【山梨日日新聞 平成30年12月22日掲



【山梨日日新聞 平成31年2月25日掲

の他(効果等)

評価対象年度

平成30年度

項目

歴史的風致に対する認識向上と情報発信に関する課題

計画に記載している内容

本市の維持向上すべき歴史的風致は、本市の特徴を遺憾なく発揮した固有の資源であり、これを維持向上するのは、歴史や文化、伝統を今後のまちづくりに活かそうとする市のアイデンティティの確立のためであると同時に、観光資源としてより多くの交流人口を増やす施策のためでもある。市民だけでなく、市の内外に広く発信し多くの見学者を招き入れることで、本市固有の歴史的風致が認識され、維持向上しようとする意識の高揚につながるものと考える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

JR東日本との良好な関係を示すように、平成30年も引き続き豪華寝台列車「TRAIN SUITE四季島」が本市のJR塩山駅へ立ち寄るルートが設定されており、甲州市近代産業遺産宮光園が見学地に選定され、四季島の乗客に宮光園の素晴らしさと勝沼のワインの歴史をお知らせするともに、甲州市の文化財や地域の魅力、観光についてパンフレット配布等により普及・啓発を図った。

市外小中学校の見学申し込みも2,000名を超え、普及・啓発活動の一定の効果があったと考えられる。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 昨年度に引き続き、宮光園は、豊かで上質な旅時間の提供をコンセプトとした「TRAIN SUITE四季島」の見学地に選定されたことや、市外や県外への認知度も上がり順調に入館者数を伸ばした。これを宮光園だけの効果に留まらせないためにも、他の文化・観光施設や固有の資源・サービスを連携させ、広域的かつ効果的な情報発信の方法を検討する。

状況を示す写真や資料等



掲載日:2018年04月08日/経済/紙面頁005 紙面・記事・写真・イラスト等の無断掲載・転用はお断りします。Copyright 山梨日日新聞社

「TRAIN SUITE四季島」の旅 公開 (平成30年4月8日 山梨日日新

評価	西対象年度	平成30年度
•法	定協議会等におけるコメント	
	コメントが出された会議等の名称:	
	会議等の開催日時:	
	(コメントの概要)	
	〇平成30年度については、委員の日程調整がかなわず未開催	
	(今後の対応方針)	